

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



保育所と地域の手作り劇

「波折のかみさま」が上演



▲会場は立ち見も出るほど盛況でした

大和保育所の園児たちが、1月30日に「波折のかみさま」と題した創作劇を上演しました。劇は、嵐に遭った漁師が、神に助けを求めると高波が折れて嵐が収まったという、波折神社の言い伝えを表しました。地域を知ろうとする保育所の取り組みがきっかけになったもので、脚本も先生の手作りです。

会場の津屋崎小学校多目的ホールは、保護者だけでなく、市内から集まった人々でいっぱいになりました。劇が始まると、観客は演技に釘付けです。富松美保子園長が「皆さんに喜んでもらうとうと張り切っています」と語ったように、子どもたちの演技には力が入っていました。嵐に耐えた主人公が無事に家に帰り着き、母と再会するという劇のクライマックスでは、涙を流す人がいたほど、多くの人に感動を与えた作品でした。

世界文化遺産国内推薦決定を祝して

なごみでマーチングパレード



▲息のそろった隊列の動きも見どころの一つでした

津屋崎千軒なごみで、3月13日にマーチングパレードが開催されました。演奏を披露したのはマーチングショーバンド世界大会で優勝したこともある、精華女子高等学校吹奏楽部の皆さんです。確かなリズムを刻む打楽器の音、管楽器の美しい音色が、隊列から響き渡りました。沿道に集まったお客さんは、世界レベルの演奏に聞き入りながら、いっしょにリズムをとったり、手拍子をしたりして楽しんでいました。

美しい花々に囲まれて

福津の花学校が開催



▲アレンジ教室では花卉農家のかたが講師を務めました

2月27日と28日に、福津の花々を身近に感じてもらうイベント「福津の花学校」がイオンモール福津で開催されました。会場ではトルコギキョウなどの美しい花の展示や販売会、フラワーアレンジメント教室などが行われました。訪れたお客さんの中には「市内でこんなにきれいな花が栽培されていることを初めて知りました」と驚く人もいて、福津の花のすばらしさを存分に伝えることができたイベントでした。

触れ合い交流の場

第1回ふくつ・まごころマーケット



▲接客にも力が入っていました

イオンモール福津で1月30日に「ふくつ・まごころマーケット」が開催されました。この催しでは、障がい者施設で製作された食品や日用品、工芸品などの「まごころ製品」の販売等がありました。「施設の人たちが「いらっしゃいませ」と元気な声で呼びかけると、お客さんは立ち止まって、気に行ったものを購入していました。

「手」をテーマにした映像作品

KWN日本コンテスト2015最優秀賞を受賞



▲受賞した小学生たち



▲受賞作品はインターネットで公開されています [KWNコンテスト 福間小学校]で検索してください

福間小学校がKWN日本コンテストで最優秀賞を受賞し、2月26日、市長に報告しました。このコンテストは、ビデオ制作を通じて、創造性やコミュニケーション能力を高め、チームワークを養うために、世界中で開催されています。受賞した作品は学校生活の中の気付きをもとに「手」の持つ不思議な力をテーマにして作成されました。出演者の一人は「演じるのが大変でしたがおもしろかったです」と語っていました。

心の込もった手づくり雑巾

雑巾が贈呈



▲雑巾を渡した市民団体の皆さん

市内の保育所や幼稚園、小学校等で役立ててほしいと、市民団体が3月7日に雑巾を贈呈しました。この雑巾はごみ拾いや花の苗植えを行っているマスカットグループ、さざなみ、ビーチクリーンズのメンバーが手縫いで作ったものです。合計で540枚もの雑巾を「いろいろなことに役立ててください」と市長に手渡していました。